

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 ヴィンキュラム ジャパン株式会社
 コード番号 3784 URL <http://www.vinculum-japan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 西條 直樹
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 大

TEL 06-6348-8951

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,362	3.7	21	—	23	—	3	—
24年3月期第1四半期	2,277	4.8	△57	—	△26	—	△12	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 18百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	110.80	—
24年3月期第1四半期	△382.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	5,335	3,542	64.0	108,320.33
24年3月期	5,406	3,553	63.4	108,816.91

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,412百万円 24年3月期 3,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,976	13.0	93	—	88	—	49	—	1,555.56
通期	10,300	12.5	263	—	253	—	165	—	5,238.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	31,500 株	24年3月期	31,500 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	31,500 株	24年3月期1Q	31,500 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から1年が経過し復興需要等を背景とした景気回復の兆しが見えてきたものの、欧州債務危機の再燃や円高傾向の長期化に加え、電力供給問題やデフレの影響など、今後景気を下押しするリスクが存在し、依然として先行き不透明な状況での推移となりました。

情報サービス産業、とりわけ当社の主要分野である流通・サービス業分野におきましては、企業業績が回復基調にあるものの、顧客のIT投資の抑制傾向が解消されるまでには至っておらず、引き続き厳しい状況下での推移となりました。

このような環境の中、当社グループは、グループ力を結集しグローバル企業としての新たな成長ステージへと飛躍するために、中期経営計画における3つの基本戦略（特定顧客〔注〕化戦略・グローバル戦略及び商品・サービスの差別化戦略）に基づき収益基盤の安定化・強化及びグローバル企業としての基礎作りを継続的に推進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、次のとおりとなりました。

売上高は23億62百万円となり前年同期比84百万円（3.7%）の増加、利益面は営業利益21百万円（前年同期は営業損失57百万円）、経常利益23百万円（前年同期は経常損失26百万円）、四半期純利益3百万円（前年同期は四半期純損失12百万円）となりました。

売上高につきましては、前年同期に比べハードウェア販売がやや減少したものの、特定顧客化戦略によるアウトソーシング案件が増加し、また、ライセンス販売が好調であったほか、MD基幹システムに関する大型開発案件等による売上も順調に推移したことにより、前年同期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、ライセンス販売が好調であったこと等により、各段階利益率が改善し前年同期の赤字から脱却し黒字化を達成することができました。

なお、前年度において大手総合小売業グループ向け大型アウトソーシング案件の安定稼働のための一時的な増員や設備投資が発生していましたが、業務効率の見直し等を実施したことにより当該案件の収益構造は改善傾向にあります。また、前年度に発生した赤字プロジェクトについては、当第1四半期累計期間の利益面への影響が残ったものの、事後処理は収束に向かっております。

〔注〕特定顧客

当社のビジネスモデルであるパッケージプロダクトを梃子に、各業種業態の有力企業のソリューションに参入し、サービス範囲の拡大を図り、さらに保守・運用業務へと業務拡大が図られた顧客のことであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は53億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円の減少となりました。これは主に、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比2億99百万円減の20億46百万円となり現金及び預金が前連結会計年度末比2億3百万円増の9億80百万円となったこと、マレーシア現地法人の設立等により投資その他の資産合計が前連結会計年度末比44百万円増の6億61百万円となったことによるものであります。

(負債)

負債総額は17億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となりました。これは主に、ハードウェア販売の減少に伴い仕入が減少し買掛金が前連結会計年度末比1億25百万円減の7億12百万円となったこと、短期借入金87百万円を返済したこと、賞与引当金が前連結会計年度末比97百万円増の1億9百万円となったことによるものであります。

(純資産)

純資産は35億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が前連結会計年度末比28百万円減の22億95百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前述のとおり、大手総合小売業グループ向け大型アウトソーシング案件の業務効率の見直し等を実施したことにより当該案件の収益構造は改善傾向にあり、また、前年度に発生した赤字プロジェクトの事後処理は収束に向かいつつあるほか、受注状況が好調に推移していることから、第2四半期連結会計期間以降の業績は引き続き堅調に推移するものと見込んでおります。そのため、連結業績予想につきましては、平成24年5月9日の「平成24年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

〔注〕業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想値と異なる結果となる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,793	980,946
受取手形及び売掛金	2,346,501	2,046,597
商品	5,983	11,578
仕掛品	54,663	61,791
貯蔵品	3,990	2,812
その他	314,854	298,644
貸倒引当金	△6,321	△5,526
流動資産合計	3,497,464	3,396,844
固定資産		
有形固定資産	574,479	566,277
無形固定資産		
ソフトウェア	430,321	432,495
のれん	271,734	262,470
その他	15,364	15,320
無形固定資産合計	717,420	710,286
投資その他の資産		
その他	619,627	664,182
貸倒引当金	△2,443	△2,443
投資その他の資産合計	617,184	661,739
固定資産合計	1,909,085	1,938,303
資産合計	5,406,550	5,335,148
負債の部		
流動負債		
買掛金	838,354	712,743
未払金	378,099	415,067
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	87,000	—
リース債務	5,238	5,256
未払法人税等	22,059	20,741
賞与引当金	11,795	109,352
工事損失引当金	5,290	6,862
その他	334,284	379,138
流動負債合計	1,692,122	1,659,162
固定負債		
役員退職慰労引当金	82,057	64,720
社債	5,000	—
リース債務	21,237	19,916
資産除去債務	11,544	11,583
その他	40,671	37,127
固定負債合計	160,511	133,347
負債合計	1,852,633	1,792,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,125	542,125
資本剰余金	584,263	584,263
利益剰余金	2,323,467	2,295,457
株主資本合計	3,449,855	3,421,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△463	68
為替換算調整勘定	△21,658	△9,823
その他の包括利益累計額合計	△22,122	△9,755
新株予約権	11,620	13,363
少数株主持分	114,563	117,183
純資産合計	3,553,916	3,542,638
負債純資産合計	5,406,550	5,335,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,277,281	2,362,251
売上原価	1,937,243	1,934,120
売上総利益	340,038	428,130
販売費及び一般管理費	397,887	406,476
営業利益又は営業損失(△)	△57,849	21,654
営業外収益		
受取利息	35	132
受取配当金	143	123
貸倒引当金戻入額	6,353	30
助成金収入	24,311	432
持分法による投資利益	—	1,780
その他	2,092	839
営業外収益合計	32,936	3,338
営業外費用		
支払利息	474	174
為替差損	1,353	—
固定資産除却損	—	406
和解金	—	730
その他	—	29
営業外費用合計	1,828	1,341
経常利益又は経常損失(△)	△26,741	23,651
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,741	23,651
法人税、住民税及び事業税	2,455	17,743
法人税等調整額	△17,843	5,589
法人税等合計	△15,387	23,332
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,353	318
少数株主利益又は少数株主損失(△)	681	△3,171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,035	3,490

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,353	318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	532
為替換算調整勘定	8,851	17,887
その他の包括利益合計	9,104	18,419
四半期包括利益	△2,249	18,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,807	15,857
少数株主に係る四半期包括利益	3,558	2,880

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、流通・サービス業向けに、情報システムの企画からソフトウェアの開発、システム運用・保守及びハードウェア販売等の総合的なITサービスと、業務プロセスの企画から必要なIT技術の導入、人材や設備の準備及び業務プロセスの運用までをトータルで受託するビジネスプロセスアウトソーシングサービスを事業内容としており、これらを統合し情報関連サービス事業を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。